

天皇盃 皇后盃
第52回全日本空手道選手権大会(個人戦)
大会実施要項
＜公益財団法人 全日本空手道連盟＞



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

1. 名 称 天皇盃 皇后盃 第52回全日本空手道選手権大会(個人戦)
2. 主 催 公益財団法人 全日本空手道連盟
3. 後 援 スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本武道館、日本武道協議会、NHK、報知新聞社、千代田区、千代田区教育委員会 足立区 足立区教育委員会 (予定)
4. 日時・場所
男子及び女子組手・形個人戦
日 時 令和6年12月8日(日)9時00分～17時30分
場 所 日本武道館 (東京都千代田区北の丸公園2-3)
式 典 13時40分から
5. 競技種目
(1) 男子・女子組手競技個人戦
各都道府県並びに競技団体より選出された代表選手による組手競技
(2) 男子・女子形競技個人戦
各地区協議会並びに各競技団体より選出された代表選手による形競技
6. 競技規定 (公財)全日本空手道連盟空手競技規定で行う。
(1) 男子・女子組手競技個人戦
ア. トーナメント方式による。
イ. 3位決定戦は行わない。
ウ. 敗者復活戦は行わない。
エ. 準決勝戦・決勝戦はビデオレビュー(VR)システムを採用する。
オ. 本大会はプロテストを採用する。プロテストの金額は20,000円とする。なお、従来通り軽微な不服申し立てについては、その場でコート主任に監督が申し出て訂正を促すこととする。
(2) 男子・女子形競技個人戦
ア. 以下の手順によって行われる。
① 16名の競技者は2つのグループに分けられる。
② 各競技者は、予選ラウンドで2つの形を演武する。
③ 予選ラウンドで演武した2つの形の平均点が計算される。
④ 平均点が同点の場合、以下の手順で順位を決定する。
1) 2回目の形の合計得点の高い方の選手
2) 2回目の形の採用された最低点の高い方の選手

- 3) 2回目の形の採用された最高点の高い方の選手
- 4) 1回目の形の採用された最低点の高い方の選手
- 5) 1回目の形の採用された最高点の高い方の選手
- 6) それでも同得点の場合、新たな形の演武を行い勝者を決定する
- ⑤ 2つのそれぞれのグループにおいて、上位4名の競技者は準決勝ラウンドに進出する。予選ラウンドの得点は無視される。
- ⑥ 準決勝ラウンドにおいて、それぞれ2つのグループから選ばれた4名の競技者は、3回目の形を行い、新たに得点が与えられる。演武順は抽選とする。
- ⑦ 2つのグループのそれぞれ1位の競技者が対戦し1位と2位の座を競う。
2位の競技者は他のグループの3位の競技者と対戦し3位の座を競う。
- ⑧ 準決勝ラウンド以降同点の場合は、以下の手順により勝者を決定する。
 - 1) 採用された最低点の高い方の選手
 - 2) 採用された最高点の高い方の選手
 - 3) それでも同点の場合、新たな形の演武を行い勝者を決定する。
- イ. 敗者復活戦は行わない。
- ウ. 各ラウンドで異なる形を演武しなければならない。ただし、引き分けの解消による再試合で使用した形は本選で使用できる。
- エ. 演武する形は、全て全空連指定形リスト及び得意形リストより選定すること。予選ラウンド1回目は第1指定形、2回目は第2指定形の中から選ばなければならない。準決勝ラウンド以降は得意形とする。
- (3) 大会審判団は、(公財) 全日本空手道連盟公認審判員により編成される。
- (4) 今大会を2024年 JKF 個人ランキング対象大会とする。

7. チーム編成・出場人員

- (1) 個人組手競技選手

各都道府県、実業団、学生連盟、高体連よりそれぞれ男子代表1名、女子代表1名とする。但し、下記のとおり追加選出できる。

 - ア. 男子出場選手

東京都1名、大阪府1名、学生連盟1名及び前年度優勝選手
 - イ. 女子出場選手

東京都1名、大阪府1名、学生連盟1名及び前年度優勝選手
- (2) 個人形競技選手
 - ア. 各地区協議会より男子及び女子代表選手各1名
 - イ. 実業団、学生連盟及び高体連よりそれぞれ男子及び女子代表選手各1名
 - ウ. 前年度優勝の男子及び女子選手各1名
- (3) 推薦選手
 - ア. 前年度優勝者
 - イ. 組手：10月1日現在のWKF ランキング各階級国内上位1位の選手
 - ウ. 形：10月1日現在のWKF ランキング国内上位3位以内の選手

※WKF ランキングは「WKF CURRENT Ranking」とする。
※当該選手が欠場する場合、繰り上げはしない。
- (4) 監督

組手競技、形競技各1名とする。(但し、組手競技の東京都、大阪府、学生連盟は2名まで)

両競技の監督を兼任することができる。
前年度優勝選手及び全空連推薦選手の監督を別に設けることができる。

8. 出場資格

- (1) 選手及び監督は、(公財)全日本空手道連盟会員であり、「JKF 会員マイページ」に登録していること。マイページが未登録では出場申込(web 申請)が出来ません。
※高校生は下記 2 5 「ドーピング検査について」を確認
- (2) 選手及び監督は、全空連の加盟団体に所属し、次のいずれかに該当する者であること。
ア. 日本国籍を有する者
イ. 日本国籍を有しない者は、日本永住許可の記入がある外国人登録済証明書、又は 3 年以上日本に滞在していることを示す官公庁発行の証明書を提示できる者
- (3) 選手及び監督は、次に掲げるア. 都道府県連盟、イ. 競技団体、及びウ. 地区協議会からそれぞれ選出された者とする。
ア. 都道府県連盟 (①～④のいずれかによって所属していること)
①居住地 ②勤務地 ③学校教育法第 1 条に規定する学校の所在地
④卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地
イ. 競技団体
①実業団 ②学生連盟 ③高体連
ウ. 地区協議会(但し、形競技のみ)
- (4) 選手は、令和 6 年度内に満 1 6 歳の誕生日を迎え、全空連公認段位取得者であること。
(5) 選手は、健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。
(6) 監督は、①全空連公認地区審判員以上の審判員資格と、②公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ 3 以上の資格の両方 (①及び②) の有資格者であること。

※選手及び監督の所属を証明する書類 (住民票又は在学・在勤証明書) 並びに選手の健康状態を証明する書類 (健康診断書又は健康診断証明書) については、当該団体会長 (又は議長) が確認し、内容に相違ない事を証することとする (全空連に提出不要)。

9. 出場申込手続き

【大会申込担当者】

- (1) 個人・団体の監督と選手を併せてWEB 申込を行うこと。
・WEB 申込の操作マニュアルを参照 (大会申込担当用、参加者用)
・出場費支払い方法：クレジットカード又はコンビニ決済 (個人団体合算)
申込期間：令和 6 年 1 0 月 7 日 (月) ～ 2 5 日 (金) 2 3 : 5 9

【出場選手】

- 選手は指定のフォームから顔写真を提出すること。
顔写真 (以下の要件を満たすものとする)
ア. 空手着を着用して撮影すること。(Tシャツの色は白)
イ. 白の無地の背景で正面から撮影すること。
ウ. カラー写真であること
エ. 写真の 70～80%が顔で占めること。自然な表情で口は閉じること。
オ. 髪は目にかからないようにすること。
カ. デジタル加工は一切加えないこと。

※フォームは各団体事務局に通知する。

回答期限：令和 6 年 1 0 月 2 8 日 (月) 2 3 : 5 9

その他の留意事項

- ア. 規定の資格条件を充たしていないとき、提出データ内容に不備不足があるとき
又は申込期限に遅れた場合には出場を認めない。

- イ. 出場申込後の選手の変更は、提出期限内であっても一切認めない。
- ウ. 出場申込後やむを得ず選手が試合に出られない事態が生じた場合は、所定様式「棄権届」に必要事項を記入し、早急に届け出ること。

10. 大会出場費

- (1) 大会出場費 1名につき 10,000円
- (2) 大会出場費の納入について
コンビニ決済またはクレジットカード決済で10月25日(金) 23:59までに納入ください。
- (3) 納入後の出場料は、出場辞退があった場合でも返金しない。

11. 大会分担金

- (1) 各道府県(関東地区を除く) 20,000円
- (2) 関東地区の都県は次の通り
東京都60万円
神奈川・埼玉・千葉・茨城・栃木・群馬・山梨は各20万円
- (3) 各団体
学生連盟30万円、実業団・高体連は各20万円
- (4) 大会分担金の納入について
下記口座に11月6日(月)までにお振込みくださいますようお願いいたします。

大会分担金納入口座			
銀行名	みずほ銀行	支店名	虎ノ門支店(046)
口座	普通	2618506	
名義	公益財団法人全日本空手道連盟		

12. 旅費等の負担について

- (1) 交通費・宿泊費とも自己負担とする。宿泊先については、各自手配すること。
- (2) 本大会において、監督・選手の昼食は支給しない。(各自で用意すること)

13. 組合せ抽選日時・場所

- (1) 抽選日 令和6年11月1日(金)
- (2) 抽選場所 日本空手道会館 会議室
- (3) 全空連公式 YouTube チャンネル「JKF チャンネル」にて LIVE 配信予定

14. 負傷処置

- (1) 大会期間中の傷害保険は、主催者側が参加選手全員に主催者負担で加入手続きをする。
- (2) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者においては応急処置を行なうが、その後は、自己の負担・責任で治療すること。
- (3) 選手は本大会には必ず健康保険証を携行すること。

15. 審判・監督・選手の服装等

- (1) 審判員
ア. 全空連審判員規定の服装による。
- (2) 監督
ア. ダークスーツまたはジャケット・ブレザー着用。全空連のエンブレムは不可。
イ. スラックスは、紺またはグレー系。

- ウ.ネクタイは全空連指定の青色もしくは指定品でない地味目のものを必須とする。
 - エ.ワイシャツは白色。
 - オ.シューズは床を傷つけないものとし、派手な色合いは避ける。(サンダル不可)
 - カ.監督用IDカードを下げる。(IDカードは後日郵送する)
 - キ.アリーナ内ではウエストポーチやリュック類は身につけないこと。
 - ク.監督は、いかなる場合もコート内に入ることはできない。
- ※女性はスラックスまたはスカートでもよく、ネクタイを着用しなくてもよい。

(3) 選手

- ア.選手の空手着は、(公財)全日本空手道連盟競技規定に定めたものとする。
- イ.青・赤帯は各自全空連認定済(マーク入り)のものを用意すること。
- ウ.選手用IDカードを下げる。(IDカードは後日郵送する)

16. 安全具について

(1) 男子組手競技に使用する安全具

- ア.拳サポーター (WKF又は全空連承認の赤色・青色のもの)
※令和5年1月16日付け「組手競技における拳サポーターの使用基準について(通知)」を参照のこと
- イ.マウスピース
- ウ.セーフティカップ
- エ.ボディプロテクター (WKF又は全空連承認のもの)
- オ.インステップガード・シンガード(WKF又は全空連承認の赤色・青色のもの)

(2) 女子組手競技に使用する安全具

- ア.拳サポーター (WKF又は全空連承認の赤色・青色のもの)
- イ.マウスピース
- ウ.チェストガード
- エ.ボディプロテクター (WKF又は全空連承認のもの)
- オ.インステップガード・シンガード(WKF又は全空連承認の赤色・青色のもの)

(3) その他

- ア.安全具は選手各自が用意すること (本連盟では準備しない)

17. 表彰

(1) 男子及び女子組手競技個人戦

優勝(天皇盃、皇后盃)、準優勝、第3位(2名)、第5位(4名)

(2) 男子及び女子形競技個人戦

優勝(文部科学大臣杯・文部科学大臣旗)、準優勝、第3位(2名)、第5位(4名)、

(3) その他

入賞選手は必ず表彰式に参加すること

18. 監督会議

オンライン会議

令和6年11月26日(火) 19:00～

19. 進行予定

令和6年12月8日(日) 日本武道館

8時00分～ 開場

9時00分～ 開始競技(後日スケジュールをご案内します。)

13時40分～ 式典(参加者は出場選手、審判員のみ)

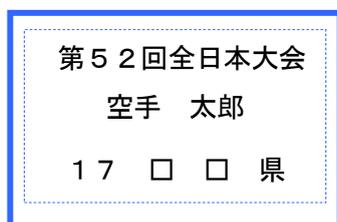
17時00分～ 表彰式

【LIVE 放映予定】

令和6年12月8日（日）NHK Eテレ 15:00～17:00（予定）

20. ゼッケンについて

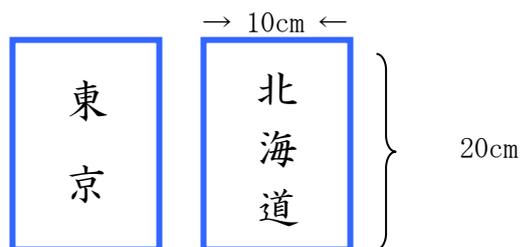
- （1）ゼッケンは大会本部で作成し、11月中旬に所属団体へ発送する。
※大会1週間前に未着の場合は必ず全空連に問い合わせること。
 - （2）所属団体は、ゼッケンの到着後必ずそれぞれの番号、姓名、都道府県名等を確認し、誤記のないことを確認した上で出場選手に速やかに配布すること。
 - （3）ゼッケンを正しく付けていない選手は出場することができない。マジックテープ等での仮止めは不可とし、確実に縫い付けて参加すること。また、競技中にとれた場合は次の試合までに必ず再度縫い付けなければ出場できない。
- ▼ゼッケンは四辺を縫い付けて道衣から外れないようにすること。
*必ず縫い付ける。（ゼッケンがない場合は出場できません）



21. 胸マークについて

- （1）選手の胸マークは、各都道府県名（競技団体より選出された選手は競技団体名）を表記した下記規格のものを左胸に固く縫着する。所属の会社、学校等の名称・マーク、会派名、道場名等を表記することは認めない。
 - ①サイズは、縦20cm×横10cm以内とする。
 - ②文字は、楷書体・黒色・縦書きとする。

〔▼例〕



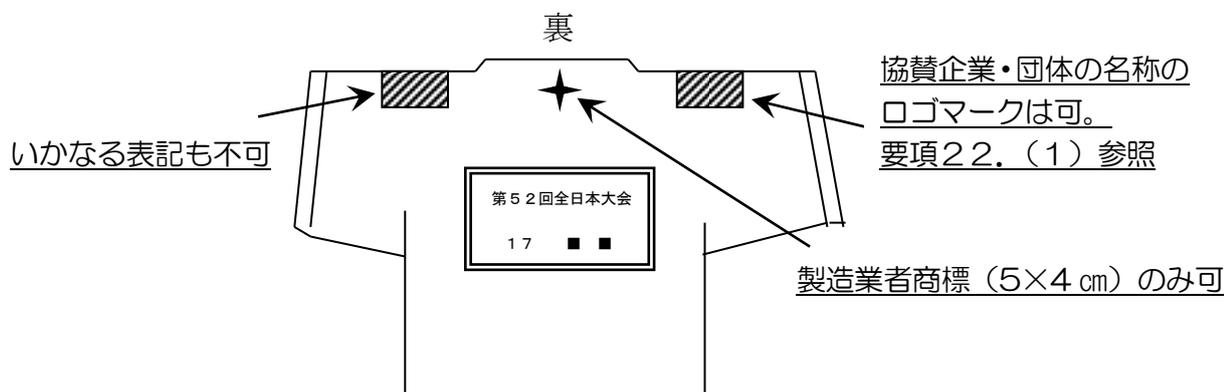
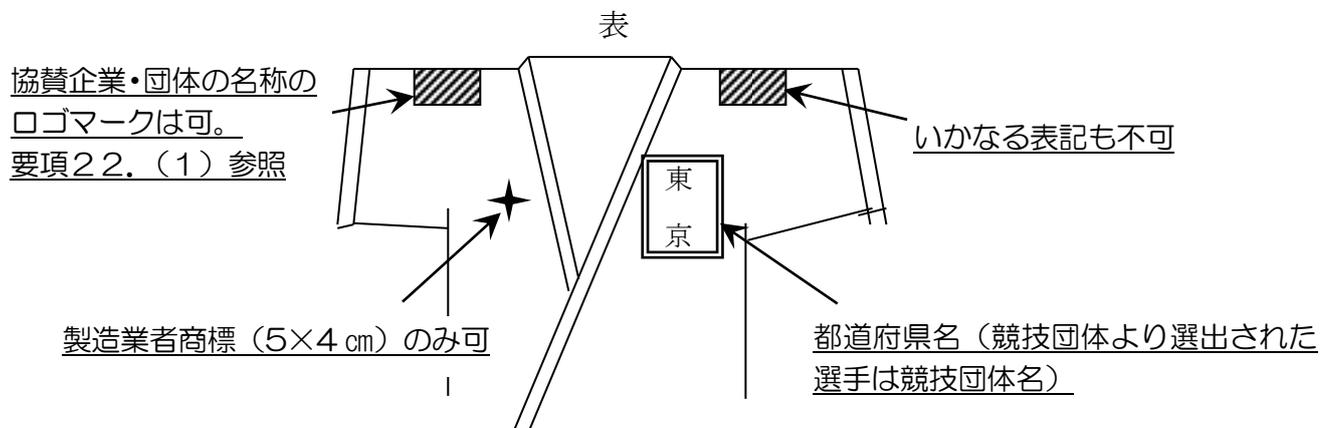
22. 両腕部マークについて

- （1）右腕
 1. 選手は協賛企業・団体の名称あるいはロゴマークを縫着できる。縦3cm×横10cmとし、競技規定に定められた範囲内に最大4件まで表示可能とする。
 2. 本大会において、風俗営業関連、暴力団関係企業・団体等を協賛として露出することは認めない。
 3. 協賛企業・団体の名称あるいはロゴマークを縫着する場合、事前に全空連から承認を受けること（全空連では前項に該当がないか確認する）。
- （2）左腕
 1. 左腕部マークについては、所属の会社、企業名、都道府県名、学校等の名称・マーク、会派名、道場名等いかなる表記も認めない。

2. 全空連が指定する大会スポンサーのロゴマークを縫着する場合がある。

23. 空手着の製造業者商標のラベル表記について

製造業者がはじめから付けたラベルだけは上着の裾表側、ズボンの表側（左右どちらか）、右胸、襟裏のみ可とし、それ以外のワッペン・刺繍等は一切認めない。※各流派のオリジナルラベルは認める。



24. 肖像権について

本大会は、大会の様相をインターネットのライブ配信を予定しており、観戦できない関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟及び関係機関が認めたライブ配信業者・報道機関等によって、撮影された映像が中継・録画放映及びインターネットにより配信または二次利用されることがある。
- (2) インターネットのライブ配信に際して、個人情報（氏名、所属など）、大会記録等を公表することがある。
- (3) 本大会参加申し込みにより、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。
- (4) 訂正などを希望される場合は、本人であることを確認したうえで、当連盟の定める書面の提出又は当連盟ホームページからのお問い合わせフォーム (<https://www.jkf.ne.jp/contactus>) により対応に応じる。

25. ドーピング検査について

本大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本大会参加者は、本大会に出場申込した時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。

また、未成年者である本大会出場者の申込においては、上記のドーピング検査の実施について親権

者から同意を得たものとみなす。

【18歳未満競技者親権者 同意書】を記載して当日持参すること。※全空連に事前の提出は不要

本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

以上

(2024年10月4日第1版発行)

(2024年11月18日第2版発行)

- ・後援団体を追加、式典開始時間を変更、監督の服装（ネクタイ）を変更